

大きい活字の(角川)
季語・用字必携

角川書店編

大きい活字の
角川季語・用字必携

発行日・一九九五年十月二十七日 初版発行

一九九七年一月三十日 四版発行

編者・角川書店

発行者・角川歴彦

発行所・株式会社 角川書店

東京都千代田区富士見二丁目三番 千102



振替 〇〇二〇一九一九五二〇八

編集部 〇三三三八八五二

電話 営業部 〇三三三八八五二

印刷所・凸版印刷株式会社

製本所・株式会社 鈴木製本所

装丁・芦澤泰偉

©Kadokawa Shoten Publishing CO., LTD. 1995

ISBN4-04-022800-6 C0592 Printed in Japan

落丁・乱丁本はご面倒でも小社角川ブック・サービス宛にお送りください。送料は小社負担でお取り替えます。

まえがき

日常生活の中で、書きたい言葉はわかっているのに、どういう字だったか正確に思い出せずに困ることがあります。俳句を作っている時にも、使いたい季語や言葉の用字がわからず、清書するのに自信がない、といったことがあるのではないのでしょうか。せっかく作った句なのに、自信をもつてみんなに見せられない、こんな場合もあるかもしれません。

この本は、俳句を作る時には、つきり字の形が見えるように、大きな活字で掲出しました。字の形を知るための字引ですが、俳句によく使われる言葉を厳選して並べてありますので、この辞典をパラパラとめくっているうちに、新しい俳句が生まれてくるということもあるでしょう。この辞典が皆さんの俳句の世界を広げるのに役立つことを願ってやみません。

平成七年十月

角川書店

本書を使う人のために

一 配列 「季語編」「一般語編」の二部構成にした。「季語編」では、季語を春・夏・秋・冬・新年の順に掲載し、その中の五十音順に配列した。「一般語編」はすべてを五十音順に配列した。清音・濁音・半濁音の順に並べ、同音の語については、画数順とした。

二 振り仮名 漢字の右横に現代仮名遣いで読みを付けた。別な読み方がある場合には、横罫線の下に「…とも」という形で示した。

三 歴史的仮名遣い 見出し語の下に二行割りで示した。ただし、()内の漢字表記についての旧仮名は付していない。

四 漢字表記 二通り以上の漢字表記がある場合、別表記を()の中に示した。

五 使い分け 同音・同訓異義語で使い分けが必要な語については、横罫線の下にその意味の違いや使い方を簡潔に示した。

六 見出し語が次行にわたる場合は、(ハイフン)で語のつながりを示した。

季語編

春

あ

犀川 大橋 春 一番の横なぐり

倉橋 羊村

藍蒔あいまくあるまく青木あおきの花はなのあをきはな青き踏むあおふあをきふむ石蓴あおさを青饅あおぬたぬたを青海苔あおのりのりあをを青柳あおやぎやぎ赤貝あかがいあか赤潮あかしお赤彦忌あかひこぎ通草あけび(木通)の花はな揚雲雀あげひばり朝顔あさが時ときくあさがほまく朝桜あさぎくら胡葱あさつき胡葱あさつき膾なます朝寝あさね麻あさ時まく薊あざみの花はな海豹あざらし浅蜷あさり

アザレア

蘆牙あしかび明日葉あしたば蘆あしの角つの蘆あしの芽め芦あし辺踊べおどりあしべをどり蘆若葉あしわかば梓あずきの花はなのあづきはな

アスパラガス

東踊あずまおどりあづまおどり東菊あずまぎく(吾妻菊)あづまぎく畦青あぜあおむあぜあをむ畦塗あぜぬり畦火あぜび馬あ酔木せびの花はなあしびの暖かあたた

アネモネ

虻あぶ油あぶらまじあぶら一だ温湿気を含ん暖な風海女あま甘茶あまちゃ海女あまの笛ふえ鮎汲あゆくみ荒東風あらごち紫羅欄花あらせいとう

あららぎの花 はな 蟻穴 ありあな を出る で 淡島祭 あわしままつり 淡雪 あわゆき (沫雪)

あはゆき 安吾忌 あんごき 杏の花 あんずはな

イースター 飯蛸 いいたこ 貽貝 いがい 鮎子 いかなご (玉筋魚)

い いかのぼり 錨草 いかりそう (碇草) いかり イキシア 伊 い

勢参り せまい 磯遊び いそあそび 磯竈 いそかまど 虎杖 いたどり 板屋貝 いたやがひ 磯焚 いそたき

火 ひ 磯菜摘み いそなつ 磯開き いそひら いたち草 ぐさ 虎杖 いたどり 板屋貝 いたやがひ

一位の花 いちいはな 苺の花 いちごはな 一番茶 いちばんちゃ 銀杏 いちよう (公孫樹) の花 はな いちやう

一輪草 いちりんそう 凍返る いてかえ 凍解け いてど 凍戻る いてもど 糸繰草 いとくりそう

糸桜 いとぎくら 糸遊 いとゆう 稻荷講 いなりこう 稻荷祭 いなりまつり 犬さかる いぬ 犬ふ いぬ

立春の空よりこぼれ来し雀 上村占魚

涅槃図を畳にのべて皆立てり 吉本伊智朗

ぐり

芋植う いもうちゅう 伊予柑 いよかん 岩梨の花 いわなしはな 岩海苔 いわのり

植木市 うえきいち 魚島 うおじま 瀬戸内海で、魚が群れて島 うがぐれてしま 魚氷に上 うおひのぼ

う

る うをひにのぼる 萍生い初む うきくさお 浮氷 うきこおり 浮鯛 うきだい

鶯 うぐいす 鶯合せ うぐいすあわせ 鶯菜 うぐいすな 鶯の巢 うぐいすす 鶯笛 うぐいすぶえ

鶯餅 うぐいすもち 海髪 うぐいす 五加木 うこぎ 五加飯 うこぎめし 雨水 うすい 薄氷 うすこおり

渦見 うずみ 薄氷 うすらい 鶯 うそ 団扇作る うちわつく 鬱金香 うつこんこう

独活 うど 独活和え うどあへ 雲丹(海胆) うに 苜蓿 うまいやし 馬の子 うまこ

午祭 うまつり 廐出し うまやだし 海猫渡る うみねこわた 梅が香 うめか 梅の花 うめはな 梅見 うめみ 梅 うめ

見月 みづき 梅若忌 うめわかき 浦佐の堂押 うらさのどうおし 麗か うらら 蟒草 うわばみそう

え

永日 えいじつ化儉草(海老根) えびね絵踏 えぶみ

エリカ

魷 えり挿す ささ円位忌 えんい き めん遠足 えんそく めん豌豆の花 えんどう はな めんどう黄金週間 おうごんしゅうかん桜桃の花 おうとう はな あうたう黄梅 おうばい わう大石 おおいし

お

忌 き おほい大蒜 おおびる おほ大待雪草 おおまつゆきそう おほまつ ゆきさう黄心樹の花 おうがたま はな たま

な

オキザリス

翁草 おきなぐさ荻の角 おぎ つの をぎの荻若葉 おぎわかば をぎわ阿国 おくに忌 き江籬 遅桜 おごのり おそざくら御松明 おたいまつ苧環の花 おだまき はな をだまきお玉杓子 たまじやくし落椿 おちつばきお中日 ちゅうにち御告祭 おつげさい落し角 おと づの小野小町忌 おののこまち き

お

札流し ふだなが朧 朧月 朧夜 おぼろ おぼろつき おぼろよお水取 みずとり おみつ御身拭い おみぬぐ おみぬ親雀 おやすずめ和蘭芥子 おらんだがらし温床 おんしょう

薪割の薪よく跳んで梅日和

黛

執

か

阿国の忌春蚊といへるものあはれ

飯田龍太

貝合せ かいあわせ
はせ かひあ

蚕 かいこ
こ かひ

蚕の眠り かいこ
ねむ かひこの

海市 かいし
一樓 し

開帳 かいちよう
やう かいち

海棠 かいどう
だい かい

貝寄風 かいよせ
よせ かひ

楓の花 かえで
はな かへで

楓の芽 かえで
め かへで

帰る雁 かえ
かり かへる

貌鳥 かおどり
かほ かほ

香水木 かおりみずき
みづき かをり

垣繕う かきつくろ

角巻脱ぐ かくまきぬ

陽炎 かげろう
ろふ かげ

風車 かざぐるま

風除け解く かざよ
と と

櫨の花 かし
はな はな

檣原祭 かしはらまつり

搗布 かじめ
め かぢ

果樹植う かじゆう
ゆう くわじ

春日祭 かすがまつり
数の子製す かずこせい

霞 かすみ
かすみ かすみ

鬘草 かざらぐさ
ぐさ かづら

風光る かぜひか

堅香子の花 かたかご
はな かたくり

の花 はな
かすみ かすみ

蝌蚪 かと
と くわ

蝌蚪の紐 かと
ひも くわと

鐘籠 かねおぼろ
かね くよう

かの子忌 かの子き

緞草(鹿の子草) かのこ
さう かのこ

荷風忌 かふうき
花粉症 かふんしょう

南瓜蒔く かぼちやま

亀鳴く かめな

鴨川踊 かもがわおどり
をどり かもがは

髭草 かもしげぐさ

榧の かや

花 はな からしな
芥菜(辛菜) からしがい
鳥貝 からす
鳥の巢 す
枳殼(枸橘)の花 はな

雁供養 かりくよう
臥竜梅 がりようばい
榎植(花梨・花櫚)の花 かりん

瀬魚を祭る まつ
蛙 かわず
蛙合戦 かわずがつせん
蛙の目 かわずめ

借時 かりどき
川蜷 かわにな
川柳 かわやなぎ
河原鶉 かわらひわ
寒明け かんあ

寒終る かんおわ
雁瘡癒ゆ がんがさい
寒食 かんしよく
観潮 かんちよう
観梅 かんばい
灌 かん

仏会 ぶつえ
雁風呂 がんぶろ
寒戾り かんもど
其角忌 きかくき
きぎす 子雉
利 きき

木苺の花 きいちご
妓王忌 ぎおうき
其角忌 きかくき
きぎす 子雉
利 きき

茶 ちや
桔梗の芽 ききようめ
菊植う きくう
菊菜 きくな
菊苗 きくなえ
菊 きく

根分 ねわけ
菊の芽 きくめ
菊若葉 きくわかば
紀元節 きげんせつ
細螺 きさぎ
如月 きさらぎ
如月菜 きさらぎな

森の村闖鶏場にしんと人
金子兜太

き

お手玉の櫓円に入りし桃の花

磯貝碧蹄館

雉子きじ

羊蹄ぎしぎし

義士祭ぎしさい

雉子の巢す

雉子笛きじぶえ

雉蓆きじむしろ

黄水きずい

仙せん

北窓開くきたまどひら

狐薊きつねあざみ

狐草きつねぐさ

狐の牡丹きつねぼたん

木流しきなが

祈き

年祭ねんさい

木の芽和えきめあきのみ

木の芽漬きめづけ

木の芽田楽きめでんがく

木の芽きめ

味噌みそ

球根植うきゅうこんう

旧正きゅうしょう

旧正月きゅうしょうがつ

胡瓜きゅうり

蒔くまき

杏花雨きやうかう
四月五日ごろに降る春雨

行基詣ぎやうきもつで
ぎやうきまうで

競漕きやうそう
きやうさう

京菜きやうな
きやうな

御忌ぎよき
きよくすい

虚子忌きよしき

漁夫渡るぎよふわた

清盛忌きよもりき

き

らん草らうさう
きらん

霧島きりしま

金盞花きんせんか
きんせん

ぎんぽぎんぽ
ぎんぽ

金鳳花きんほうげ
(毛)

苜き

金蘭きんらん

銀蘭ぎんらん

くうかいき
空海忌くくたち
荃立くこちや
枸杞茶くこめ
枸杞の芽くこめし
枸杞飯くさあお
草青むくさかんば
草芳しくさめ
草の芽くさわかば
草の若葉くさ
草ほけ
木瓜くさも
草萌えくさもち
草餅くずわかば
葛若葉くぶつき
句仏忌くまあな
熊穴を出るくまがいそう
熊谷草くまばち
熊蜂くるまく
車組むくれおそ
暮遅し
クレソンくれはる
暮の春くろぐわい
黒慈姑(烏)くろぐ
芋くろつカス
クロツカスくろのり
黒海苔くろめ
黒布くわ
桑くわい
慈姑くわ
慈いほ
姑掘るくわう
桑植うくわつ
桑摘みくわと
桑解くくわはな
桑の花な
桑の芽くんしらん
君子蘭

帰る雁眉間の波の大きいなる

斎藤梅子

け

好忌 こうき けんか

日 ひ けんばふ きねんひ

こ

光太郎忌 こうたろうき

殊会 じゆえ こうふくじ もんじゆあ

五月祭 ごがつさい ごくわ つさい

忌の膳が廊下をゆけり春の雷

神尾季羊

迎春花 げいしゅんか げいしゅ

啓蟄 けいちつ

鶏頭時 けいとうま

毛蚕 けご

月斗忌 げつとき

華鬘草 けまんそう けまん

獸交む けものつる

紫雲英 げんげ

紫雲英田 げんげだ

兼 けん

建国記念日 けんこくきねんび

元政忌 げんせいき

玄鳥 げんちよう げん 一 つば てうめ

憲法記念 けんぽうきねん

小鮎 こあゆ 恋猫 こいねこ

耕耘機 こううんき かうう

光悦忌 こうえつき えつき

黄沙 こうさ

孔子祭 こうしさい

黄塵 こうじん ちん

香雪蘭 かうせつらん かうせ

楮の花 こうぞ はな かうぞ

ぶこうな がう 一 やど

小女子 こうなご

紅梅 こうばい

興福寺文 こうふくじもん

氷解 こおりと

ゴールデンウィーク

蚕飼 こがい

穀雨 こくう

告天子 こくてんし ひば

苔竜胆 こけりんどう こんだう

小米花 こごめばな